

劇団 医療と介護の楽市楽座 特別公演

劇製作・監修:特定非営利活動法人エナガの会

大会長も  
出演予定?!

医療介護の  
プロフェッショナルが  
素人劇を演じます

信長・秀吉・家康の  
人生会議

～医療介護連携で、ACP! やってみせよう、ホトトギス!～

2019年12月1日(日)13:30～14:20  
姫路市市民会館大ホール



死ぬのなら、  
延命してよ、  
ホトトギス!



秀吉役:久次米健市  
(元長田区医師会会長)



家康役:近藤誠宏  
(神戸市医師会副会長)



信長役:松田聡  
(元淡路市医師会会長)



死ぬのなら、  
自然に待とう、  
ホトトギス!

死ぬのなら、  
いざぎよく死ぬ、  
ホトトギス!



明智先生は、地域で開業して二十数年。在宅医療には消極的であった。しかし、ひよんなことから、長年通い続けている患者(武田さん)のために在宅訪問診療を開始することに……。在宅は知らないことだらけ。さらに、終末期の意思決定も必要になり、明智先生は困り果てる……。はじめての在宅、いきなりのACP(人生会議)!そこに、歴史上の武将達が現れた。医療と介護の連携の重要性。よく知らなかった、在宅サービスの専門職が活躍する姿を目の当たりにし、地域で医師が果たすべき役割は何なのか?を考える。そして、医師としての初心を思い出す。地域で開業した日のこと、それは……



「観劇には、標記学会地方会参加(詳細裏面)が必要です」